

薬の伝言板…吸入薬

No.139 2009年6月
丸子中央総合病院 薬局



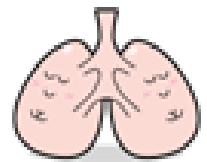
連日テレビや新聞では、新型インフルエンザについて報道されています。まずは、うがいや手洗い、マスクなどでの予防が大切です。新型インフルエンザも従来のインフルエンザと同じように、リレンザという吸入薬が効果的であるとされています。

今回は、リレンザなどの吸入薬についてお話したいと思います。

☆吸入薬とは？

吸入器具を使い薬を吸うことで作用するお薬です。

吸入薬は、少量の薬を直接肺や気道に作用させるため、普通の飲み薬に比べ全身への副作用が少なく、また薬の吸収を高める利点があります。



☆吸入薬の種類

吸入薬は大きく**スプレー式**と**ドライパウダー式**の二つに分けられます。

	スプレー式	ドライパウダー式
使用方法	ガスといっしょに噴霧された薬をタイミングを合わせて吸入する。	粉末状の薬を自分のタイミングで吸入する。
メリット	薬を吸い込む力が弱くても使用できる。	薬を吸い込むタイミングを合わせる必要がなく、準備ができ次第、いつでも使用できる。
デメリット	噴霧と吸い込むタイミングを合わせる必要がある。	吸い込む力が弱いと、薬がきちんと気管支に到達しない場合がある。
薬剤名	メプチンエアー（β刺激薬） ストメリンD（β刺激薬） テルシガンエロゾル（抗コリン薬） フルタイドエア（吸入ステロイド）	リレンザ（抗インフルエンザ薬） セレベントロタディスク（β刺激薬） フルタイドディスク（吸入ステロイド） アドエア（β刺激薬・吸入ステロイド） スピリーバ（抗コリン薬）

β刺激薬…気管支を拡げます

抗コリン薬…気管支を拡げ、喘息発作を予防します

吸入ステロイド…気道の炎症を抑え、喘息発作を予防します

☆吸入薬の使い方



<吸入の準備>

◎スプレー式

吸入薬をよく振ります。(薬とガスを均一にするため)

◎ドライパウダー式

各吸入器に薬を装着します。装着方法は、各吸入器によって異なります。
ディスクスは予め薬が器械に装着されています。

<吸入方法>

①吸入口が汚れていないことを確かめて下さい。

②息を吐き出します。

パウダー式は吸入器に向けて息を吐かないようにしましょう。

息を吐きすぎると、苦しくて薬を急に吸い込んでしまう原因にもなるので気をつけてください。

③薬を吸い込みます。

④薬を吸入した後は 10 秒ほど息をとめるようにします。

(※苦しければ無理はしないようにします。)

その後鼻からゆっくり息を吐き出します。

☆吸入薬使用時気をつけること



◎吸入ステロイド使用後は必ずうがいをしましょう。

うがいにより口腔カンジダなどの副作用を予防できます。

◎吸入器の吸入口はいつも清潔に保ち、また高温多湿を避け室温で保管して下さい。



吸入薬は初めての方には使い方にコツがある器具です。
しかし、正しく使えば決して難しい薬ではありません。
スプレー式の吸入薬で、どうしても吸入がうまく行えない時は吸入補助具
(スパーサー)を使う場合もあります。
初めて使用する方は、薬剤師より使用法の説明を受けて下さい。
わからないことがありましたら、医師または薬剤師にご相談下さい。

また、高熱など新型インフルエンザの症状がありましたら、病院に行く
前にまずは最寄りの保健所にご相談下さい。

